



銅合金製玉型弁

- 本社所在地：福岡県福岡市中央区天神1丁目14-18
- 事業概要：船用バルブ、ストレーナ、自動化機器及び各種ぎ装品の製造販売
- 常時使用する従業員：102名  
(グループ全体・2025年12月時点)
- 現在の売上高：44億円  
(グループ全体・2024年11月期)
- 法人番号：6290001053161
- Web:Webサイトなし

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
藤山 幸二郎

### 既設設備をDX化する革新的後付け自動化機器で、防災・省人化・IoT化を実現

当社は、官公庁向けバルブ製造で培った技術を基盤に、既設設備（すでに設置され稼働中の設備）をDX化する革新的後付け自動化機器「バルブオートマイザー®」「水門ボット®」を開発し、高い社会的評価を得ています。

さらに売上100億円企業にふさわしい事業基盤を構築するためにホールディングス体制への移行と新工場建設、パートナー企業との連携強化を進め、社会インフラ・産業・船舶・農業など多分野へ事業展開します。革新的後付け自動化技術で社会課題を解決し、売上100億円を達成します。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

#### 【2030年 売上高100億円達成を目指す】

- ・既存事業は、官公庁向け船舶需要の増加に伴う受注拡大により、2030年に売上53億円を見込んでいます。
- ・新規事業は防災・省人化・IoT化の社会的ニーズを背景にバルブオートマイザー®・水門ボット®など後付け自動化機器の販売を拡大し、2030年に売上58億円を実現します。

### 課題

- 【経営体制の課題】後付け自動化を中心とする新規事業拡大に向け営業・プロモーション体制の強化が求められる。
- 【既存事業の課題】官公庁向けを中心とした需要拡大に対応するため、生産能力の拡張・高度化が必要となる。
- 【新規事業の課題】バルブオートマイザー®・水門ボット®の量産体制及び販売・施工体制の整備が成長の鍵となる。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- 【経営体制の強化】新規事業拡大に向けて、企画・営業・品質保証などの機能を強化します。
- 【既存事業の生産体制強化】他社との協業やM&A等により新たな生産拠点を獲得し、需要増への対応、コスト低減、事業継続性を強化します。
- 【新規事業の拡大】グループ企業の総力を結集して生産体制を構築し、社会インフラ、産業、船舶、農業など多分野から新規顧客を獲得します。

### 実施体制

- 【経営体制の強化】後付け自動化学業の拡大に向け、経営資源の戦略的配分と長期的視点での戦略実行を目的に、2025年4月ホールディングス会社を設立しました。
- 【既存事業の生産体制強化】鋳造能力の強化を目的に(株)原合金をグループ会社化しました。今後もM&A等を通じて生産能力の拡張と技術獲得を進めます。
- 【新規事業の拡大】新工場を建設しオートマイズ・ラボを中心にグループ企業の連携により量産体制を構築します。

## 注力する事業領域と注力製品

堅調な既存事業を基盤に、バルブオートマイザー・水門ボットの販売拡大により、新規市場・新規製品分野を成長させ、2030年売上高111億円を達成

- 既存市場である官公庁向け製品については、船舶等の建造計画が2030年まで確定しており、既存製品の堅調な売上が期待できます。
- 官公庁向け新製品である官公庁向けバルブオートマイザー®は、2026年以降に納入を開始し、2030年には売上14億円を見込んでいます。
- 新規製品では、販売拡大段階に入った水門ボット®およびバルブオートマイザー®が、地方自治体、電力会社、ものづくり企業等の新規顧客向けに販売拡大が期待でき、2030年に売上39億円規模の中核事業へと育成します。
- 鷹取製作所と大学等の研究機関が共同開発を進めている水素インフラ向け配管部品については、次世代の主力製品として開発を継続します。

新規市場

5億円



水素システム用配管部品

39億円



水門ボット バルブオートマイザー

既存市場

53億円



銅合金製玉型弁・こし器

既存製品

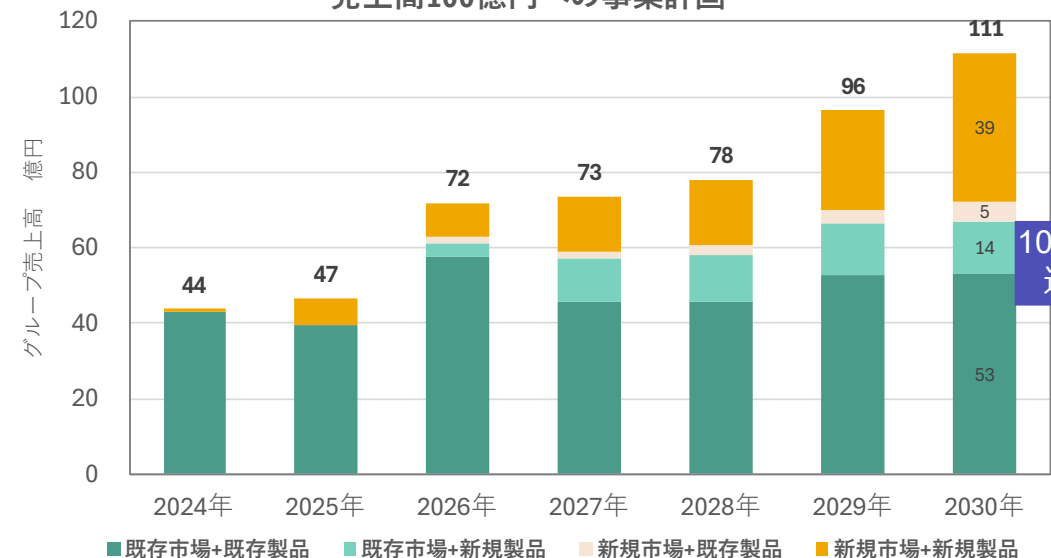
14億円



官公庁向けバルブオートマイザー

新規製品

売上高100億円への事業計画



100億円  
達成

グループ構成図

